



宮成 昭義

大丈夫か 国体受け入れ

質問

大分国体で、市は5競技（馬術・剣道・山岳・カヌー・少年男子ソフト）を受け入れ予定である。財政の見通しはどうか。

答弁 教育次長

過疎地域自立促進計画の中で20年度までの4年間で概算事業費として6億3千3百万円を計上している。歳入として見込める金額は半分程度で、現状の財政状況から判断して非常に厳



翔け 期待の星
“大分国体に向けて”

しい。

国体を成功させるために最小の経費で最大の効果を挙げるように努め、今後は、競技団体・県国体局と協議し予算編成に努力します。

どうする

施設や公用車

質問

各支所の空き部屋の活用は。

答弁 総務部長

資産の有効利用と周辺地域の活性化に資する観点から早急に検討し、市民の憩いの場や生涯学習、健康福祉の拠点として整備充実を図りたい。「まちづくり委員会」に、活用方法を検討をしていただきたい。

質問

公用車及びマイクロバスの利活用は。

答弁 総務部長

旧町村の首長専用車7台うち、2台はそのまま使用し、5台は解約や処分予定です。

マイクロバス使用は道路運送法に抵触する部分、或いは公平性などを考慮し、統一見解のもと使用を許可しています。

※その他
「市の体育協会の設置」「教育行政に関する各種委員などの組織化」



小野 順一

住民の足となる

交通手段は

質問

コミュニティバスの運行委託地域があるが、従来の路線バス運行補助は。

答弁 企画部長

コミュニティバスについては、市が運行計画の中心になって公共交通機関の無いあるいは不便であった地域にバスサービスを提供し、住民福祉の向上を図るために導入してきたものです。本市のコミュニティバスの運行については清川町・緒方町・大野町の区域であり合併前の運行計画をそのまま引き継いでいます。

路線バスの運行補助については平成17年度に三重町3路線、三重く清川く緒方1路線、朝地町1路線、大野町1路線、千歳町1路線、犬飼町3路線の計10路線、1千25万円の助成を行っています。

どちらに重点を置いて

質問

今後の対応はどのように考えているのか。

答弁 企画部長

新市の人口構成並びに人口推移を考えますと今後高

齢化が急速に進んでいくものと予想され、生活の足としての交通手段の確保は極めて重要であると考えています。



過疎地域に必要なコミュニティバス “助かります”

民間会社が運行する既定路線の維持に積極的に努めます。廃止路線におけるコミュニティバスの運行など、合併の調整方針に基づき運営形態を含み運行全般にわたり抜本的な見直しをコミュニティバス運営協議会で検討したいと考えています。